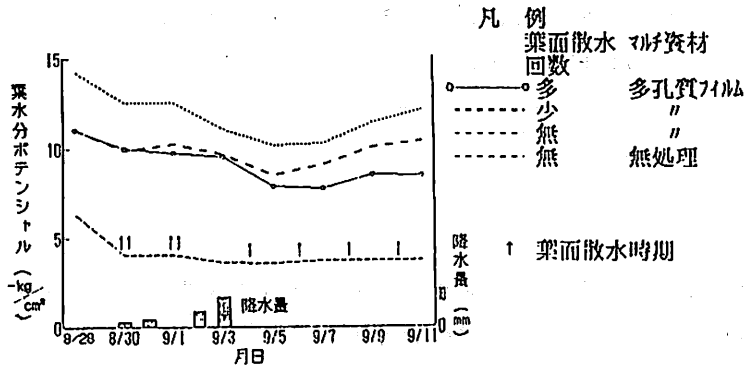
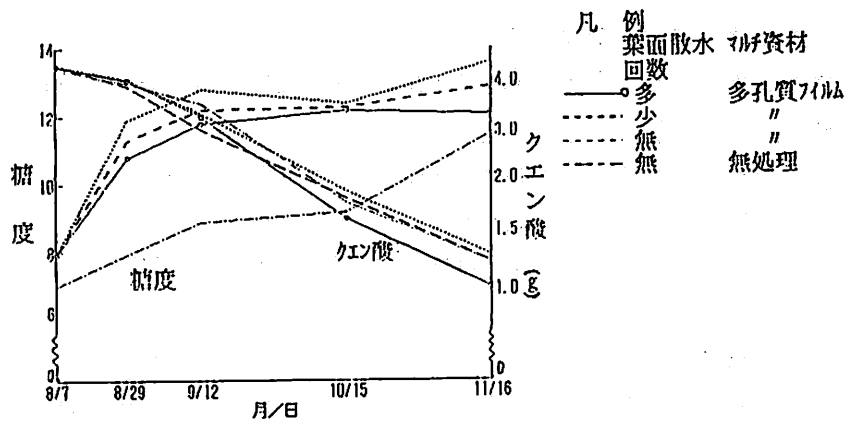


課題名	8 常緑果樹の品質向上	分類	③										
	(3) 温州ミカンのフィルムマルチ処理樹に対する葉面散水による減酸促進効果												
試験研究年次	2年(完了)												
<p>I 目的</p> <p>温州ミカンのフィルムマルチ処理樹に対する葉面散水が葉の水分ポテンシャルや果汁中の糖度、クエン酸に及ぼす影響を調査し、果実品質の調節技術確立に資する。</p>													
<p>II 試験方法</p> <p>1 供試品種 興津早生 カラタチ台12年生</p> <p>2 処理区</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">マルチの資材</th> <th style="text-align: left;">葉面散水回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多孔質フィルム</td> <td>多(8月下旬から1日おき6回)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>少(8月下旬から1日おき2回)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 多孔質フィルムはエーザイ生科研製で、1.0~0.1ミクロンの有孔フィルム。</p> <p>3 処理方法</p> <p>(1) フィルムマルチ 2年8月8日~11月16日、畝幅2.5mを処理し、畝の上側はフィルムの端を20cm埋設した。</p> <p>(2) 葉面散水 フィルムマルチ処理樹に2年8月下旬から9月上旬の日没前に5リットル/樹、灌水ホースを使用して葉面に散水した。</p>				マルチの資材	葉面散水回数	多孔質フィルム	多(8月下旬から1日おき6回)	"	少(8月下旬から1日おき2回)	"	無	-	無
マルチの資材	葉面散水回数												
多孔質フィルム	多(8月下旬から1日おき6回)												
"	少(8月下旬から1日おき2回)												
"	無												
-	無												
<p>III 主要成果の概要</p> <p>温州ミカンのフィルムマルチ処理樹に葉面散水を行うと、葉の水分ストレスを低下させ、果汁中のクエン酸の減少を促進するとともに、樹体の衰弱を防ぐことができる。</p> <p>1 夏季に5日以上乾燥が続くと葉の水分ストレスは高まるが、葉から水を吸収させると低下し、葉の萎凋程度が軽くなり、落葉は減少する。</p> <p>2 葉の水分ストレスが高い樹ほど糖度、クエン酸は高く推移するが、葉面散水で葉の水分ストレスを低下させることにより糖度、クエン酸は低下する。</p>													

IV 主要成果の具体的データ



第1図 葉面散水と葉水分ポテンシャルの推移 (2年)



第2図 葉面散水と果実品質の推移 (2年)

V 成果の評価と取扱上の留意点

温州ミカンのフィルムマルチ栽培における樹体管理技術の有効な手段として活用できる。

VI 今後の研究上の問題点

- 1 樹勢の維持、減酸に有効な散水時期、程度の検討
- 2 果実品質と樹体の水分ストレスの関係

VII 資料名

- 1 2年度福岡県農業総合試験場果樹関係試験成績書
- 2 2年度常緑果樹試験成績概要書 (農林水産省編)